

米子市 18年度から財源不足

財政見直し 基金取り崩し必要

米子市は18日の市議 会行財政改革問題等調 査特別委員会で、20 17年度までの財政見 通しの試算を公表し た。今後5年間で社会 保障費は膨らむ一方、 歳入は伸び悩み、18年 度以降は財源不足が生 じる。

市は、普通交付税の 優遇措置(合併算定替 へ)が終了する15年度以降 を「一般財源の不足が 顕著になる」と説明。 交付税減に加え、少子 高齢化による税収減、 老朽化した公共施設の 改修費の増加などが見 込まれると分析する。

試算によると、歳入 は減少傾向で、17年度 は本年度比12・6%減 の575億7300万 円。17年度までは過去 の繰越金などで歳入を 穴埋めできるが、18年 度以降は賸いきれなく なる。

証明係で住民票や戸 籍などの発行事務、届 出係で印鑑登録や転居 転入届の業務を担 いる、窓口を訪れる市民 の分散化と待ち時間の 短縮を目指す。

機構改革し 窓口混雑解消

米子市

米子市は18日の市議 会行財政改革問題等調 査特別委員会で、市役 所窓口の混雑を緩和す るため、市民課にある 現行の「窓口係」を廃 止し、新たに「証明係」 と「届出係」を設置す る10月1日付の機構改 革を発表した。現行の 107係が108係と

なる。証明係で住民票や戸 籍などの発行事務、届 出係で印鑑登録や転居 転入届の業務を担 いる、窓口を訪れる市民 の分散化と待ち時間の 短縮を目指す。

届出係には、国民一 人一人に番号を割り当 てる「社会保障・税番 号制度」の専任職員を 配置し、円滑な導入を 図る。

一方、市の借金に当 たる「公債費」は年々 減り、17年度は本年度

比13・4%減の64億5 600万円。ただ、後 に交付税措置される地 方債「臨時財政対策債」 超が続くという。

の借り入れがあるた め、地方債残高は減少 幅が小さく600億円 超が続くという。

看護大特委 継続求める

倉吉市議会特委

倉吉市議会の看護大 学誘致特別委員会が18 日に開かれた。同市議 会は10月に改選を迎え ることから、改選後も

継続して特別委員会を 設け、看護大学誘致に 向けて研究することを 求めるなどとした最終 報告書をまとめること とした。

5回目となる委員会 では、市側から現在の 鳥取看護大学開設に向

けた取り組みの進捗 状況などを聞いた。市 側からは、課題となっ ていた学生の実習先の 確保などにめどが立っ たとする報告がある一 方、残る大きな課題と して開設経費をどう確 保するかという問題が 示された。

市によると、現在は 看護大学開設を目指す 藤田学院(山田修平理 事長)が約19億4千万 円と概算されている開 設経費の精査をしてい る段階で、10月にも結 果が示される。市は鳥 取県や県中部4町と共 に支援する考えだが、 2015年4月の開設 スケジュールに従う と、12月ごろまでには 各自自治体が支援を決め ることが必要で、同市 後の日程に余裕がない との認識を示した。

市によると、現在は 看護大学開設を目指す 藤田学院(山田修平理 事長)が約19億4千万 円と概算されている開 設経費の精査をしてい る段階で、10月にも結 果が示される。市は鳥 取県や県中部4町と共 に支援する考えだが、 2015年4月の開設 スケジュールに従う と、12月ごろまでには 各自自治体が支援を決め ることが必要で、同市 後の日程に余裕がない との認識を示した。